

# 令和4年度予算の概要 — 水道事業会計 —

## 1 予算編成の基本方針

水道事業では、40年先の将来像を見据えた「あますいビジョン2029」(令和2～11年度)に基づき、将来においても安定的に事業を継続していくための取組を進めています。

ビジョンの3年目である令和4年度におきましては、老朽化した配水管の計画的更新及び耐震化、配水ブロック化に引き続き取り組むとともに、避難所等への応急給水栓の設置や地域と連携した訓練などの取組を重点化して予算編成を行いました。また、他市での水管橋崩落事故の状況を踏まえ、管路施設の効率的な管理を行うためのシステムを構築し、よりきめ細やかな管理方法を確立していくほか、令和12年度以降に配水場化を予定している神崎浄水場の再整備基本計画の策定に向けた取組を進めてまいります。

## 2 予算の規模

(税込、単位:千円)

区 分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	9,657,896	9,929,539	△ 271,643	△2.7%
		支出	8,880,965	8,730,146	150,819	1.7%
		差引	776,931	1,199,393	△ 422,462	
	特別 損益	収入	1	1	0	0.0%
		支出	5,034	5,000	34	0.7%
		差引	△ 5,033	△ 4,999	△ 34	
	合 計 (当年度純利益)		771,898 (572,465)	1,194,394 (998,663)	△ 422,496 (△ 426,198)	
資本的 収支	収入	743,737	736,609	7,128	1.0%	
	支出	3,307,320	3,747,209	△ 439,889	△11.7%	
	差引	△ 2,563,583	△ 3,010,600	447,017		
補てん財源		2,169,730	2,603,604	△ 433,874	△16.7%	
資金収支	年間	△ 393,853	△ 406,996	13,143		
	累計	6,023,293	6,417,146	△ 393,853		
企業債残高		12,315,070	12,574,726	△ 259,656		

収益的収入では、給水量が前年度予算に比べ2.1%減少し、給水収益は1億3千万円減少すると見込んでいます。また、大型マンションの新築戸数の減少により分担金収入が1億2千万円減少するなど、収入全体で2億7千万円減少する見込みとなっています。一方、収益的支出では、退職給付費や物件費などの増加により、支出全体で1億5千万円増加することから、令和4年度の純利益は、前年度に比べ4億3千万円減となる5億7千万円を見込んでいます。

次に、資本的収入では、工事負担金の増により前年度に比べ7百万円の増加を見込み、資本的支出では、前年度に計上した投資有価証券の購入金額5億円が皆減したため、4億4千万円の減少となっています。

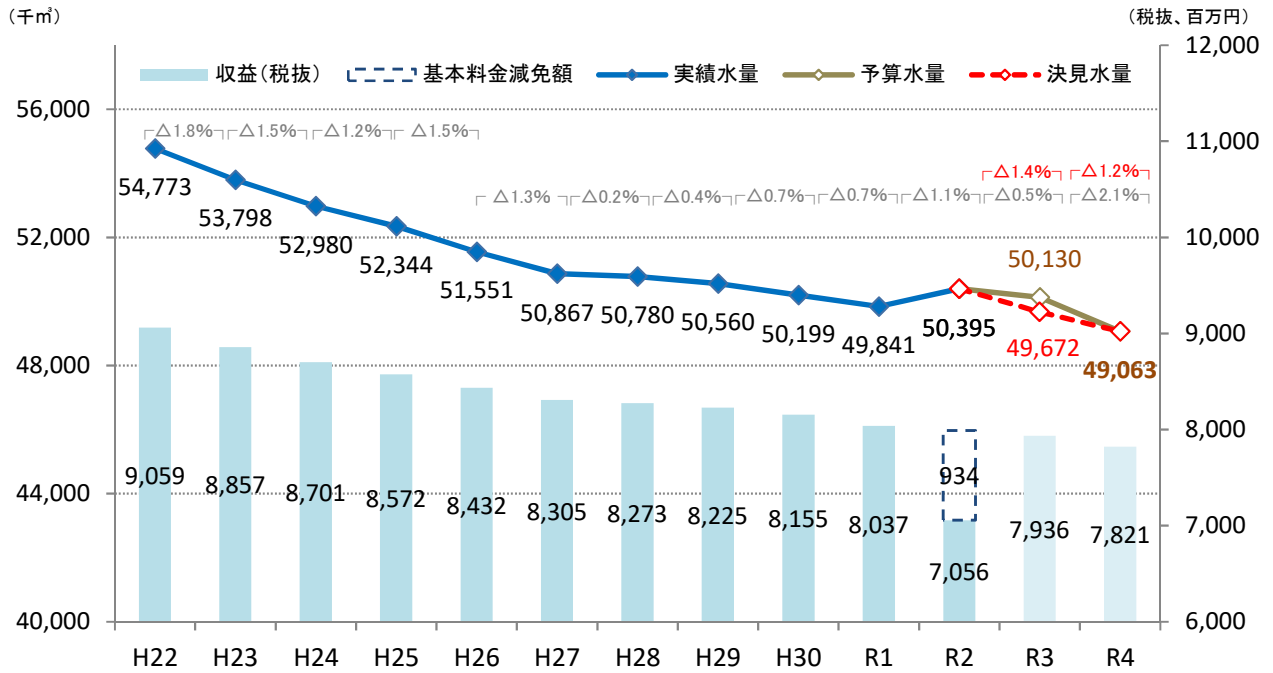
資金収支については、年度末の資金残高が、60億2千万円となる見込みです。

### 3 業務の予定量

区 分		令和4年度	令和3年度	増減	増減率
給 水 戸 数		248,800 戸	248,700 戸	100 戸	0.0 %
配水量※1	年間総量	52,933,000 m <sup>3</sup>	54,201,000 m <sup>3</sup>	△ 1,268,000 m <sup>3</sup>	△ 2.3 %
	一日平均	145,022 m <sup>3</sup>	148,496 m <sup>3</sup>	△ 3,474 m <sup>3</sup>	△ 2.3 %
給水量※2	年間総量	49,063,000 m <sup>3</sup>	50,130,000 m <sup>3</sup>	△ 1,067,000 m <sup>3</sup>	△ 2.1 %

※1 配水量＝浄水場から市内へ送り出される水の量  
 ※2 給水量＝お客さまが実際に使用する水の量

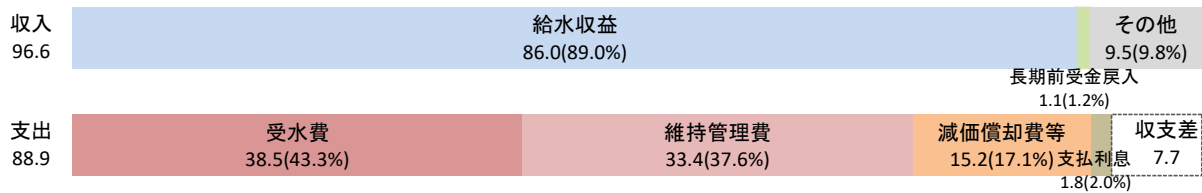
#### 「給水量及び給水収益の推移」



### 4 予算の構成

#### (1) 収益的収支 (事業管理・運営にかかわる収支)

税込、単位: 億円、( )内は構成比



#### (2) 資本的収支 (施設の建設・改良などにかかわる収支)

